

「ミサイル防衛」は何のために？

実現できるの？ 役に立つの？ 宇宙への軍拡か？
私たちに出来ることは？

お話 大庭里美さん

「プルトニウム・アクション・ヒロシマ」主宰

日時 8月9日，木曜

(長崎原爆の日，国際先住民の日)

13時～15時

ところ アバンセ語学研修室

参加費 500円 主催 佐賀大学教職員有志



ヴァンデンベルグ空軍基地での
グリーンピースの抗議，7月13日

アメリカのブッシュ政権は，各国の反対をよそに「ミサイルの脅威をなくす」と称して，「盾」，すなわちミサイルを迎え撃つミサイル網を作ろうとしています．しかし「矛盾」という言葉を知っている私たちは，これが新たな核軍拡につながるだけのものと考えます．この計画の本当の狙いは何なのか考えてみましょう．そして私たちは何をすべきかを．

大庭さんは，「プルトニウム・アクション・ヒロシマ」という市民団体を主宰しておられ，核問題の最新事情に詳しい方です．つい先日は，6月12日から21日まで、「太平洋の女性スピーキングツアー」として，世界法廷運動の創始者ケイト・デュースさんらと各地を回られました．また，カナダ議会での5月8日のNMD（本土ミサイル防衛）ヒアリングの記録*を翻訳されるなど，重要な情報を提供し続けておられます．また，アンジー・ゼルターさん**らの「トライデント・プラウシェアズ」運動の発足を1998年5月に日本で同時に発表した方です．



この催しのページ：

<http://pegasus.phys.saga-u.ac.jp/peace/satomi.html>

* 次のサイトをご覧ください．

<http://www03.u-page.so-net.ne.jp/ta2/toyosima/other/divers.html>

** 一昨年アバンセで講演をされました．

協力者，協力団体を募集しています．ご連絡下さい．

連絡先 佐賀大学理工学部 豊島耕一

toyo@cc.saga-u.ac.jp

電話/ファクス 0952-28-8845

佐賀大学図書館 岸恵子

佐賀大学経済学部 畑山敏夫